



# 横浜市立東高等学校野球部

令和6年度入学生用



東高校はどの部活も文武両道を目指す公立高校らしい学校です。体育祭も文化祭も盛り上がり仲間の部活の試合には応援に行き、そして引退後は大学進学を目指す。「当たり前前」の校訓から日ごろの生活が作られています。これまで我が野球部は「東と言えばサッカー部」という伝統と並行して活動してきました。人数も9人ギリギリの時代があったり、地区予選全敗の時代があったり。最近では人数も増え県大会に出場するなど躍進しています。今年も春季大会では県大会へ出場しています。これより東が好きで東高校で野球をやりたいと集まった仲間たちの日々の活動を紹介します。

日頃の東野球部は、平日の放課後は18:30まで練習です。専用のグラウンドではありませんのでサッカー部やラグビー部、陸上部と分割して使用しています。校則により19:00完全下校ですが、逆に帰宅してからの勉強時間を確保したり、治療のための通院であったりと、自分の時間がとれるようになっています。午前授業の日などは球場(瀬谷本郷・俣野・横浜スタジアム)を借りての練習も行っています。

土日祝は基本的には試合です。東高校の校庭では試合が出来ないため遠征が基本です。練習試合は県内の強豪校とも多く組んでいます。また夏休みには今年度は実施できませんでしたが合宿を行っています。冬の間は高野連の規定により試合が出来ないため講師による食事指導や他校との合同練習、駅伝大会に参加など、モチベーション向上に努めています。

東の野球部は中学時代エースで4番でキャプテンという人やシニアでやっていた人もいますが中学・高校から野球を始めた人もいます。中学では試合にあまり出られなかった人が活躍できる場が多くあるのが東の野球部の魅力でもあり、全員が部室を共有し上級生が率先して練習の準備や整備をするところも東の良さです。夏の大会では吹奏楽部、チアダンス部、一般の生徒と多くの人から応援されて野球ができるのも高校野球ならではの良さです。

また高校野球のイメージとして坊主は嫌だ、朝練も嫌だ、勉強もしたい、バイトもしたい、いろいろな悩みもあると思います。この3月に卒業した3年生も夏の大会以降に受験勉強に励み志望校に合格しています。過去の卒業生たちも国公立に入学していたりと進学実績は高いものがあります。髪型については短髪でも構いません。朝練は水曜日にトレーニングルームでの活動しています。放課後の練習は土日が試合だった場合の月曜日と水曜日が休養日となっています。バイトは原則禁止ですが冬休みは部活の休みが続くので短期でやることは可能です。

その他、聞きたいことがあれば是非とも野球部の見学にお越しください。お待ちしております。

## 1年間の流れ(令和5年度)

- 4月 春季県大会 新入生仮入学→本入部
- 5月 春季県大会 練習試合
- 6月 練習試合
- 7月 夏季選手権大会
- 8月 秋季地区予選
- 9月 秋季県大会 練習試合
- 10月 練習試合
- 11月 練習試合
- 12月 シーズンオフ (3月8日まで規定により対外試合禁止)
- 1月 シーズンオフ 駅伝大会  
海の公園にて砂浜トレーニング
- 2月 シーズンオフ 他校と合同練習
- 3月 春季地区予選 練習試合

## 令和以降 野球部卒業生の主な進学先

- 電気通信大学(1) 芝浦工業大学(1)
- 慶応義塾大学(1) 明治学院大学(1)
- 明治大学(5) 青山学院大学(1)
- 中央大学(1) 国学院大学(1)
- 東京理科大学(1) 東京都市大学(4)

文武両道を目指し  
頑張っています



横浜市立東高等学校  
〒230-0076  
横浜市鶴見区馬場3-5-1  
045(571)0851  
文責: 監督 近藤隆宏